

公益財団法人福岡市文化芸術振興財団
所管事務調査説明資料

目 次

第1章 公益財団法人福岡市文化芸術振興財団の概要

1	名称, 設立年月日, 所在地	1
2	設立目的	1
3	事業内容	1
4	基本財産	1
5	組織及び役職員数	2
6	役員名簿	3
7	評議員名簿	3

第2章 平成30年度決算状況

1	事業報告	4
2	貸借対照表	8
3	正味財産増減計算書	9
4	財務諸表に対する注記	11
5	附属明細書	13
6	財産目録	14
7	収支計算書	16
8	収支計算書に対する注記	17
9	契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約	17
10	契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約	17

第3章 令和元年度事業計画

1	事業計画	18
2	収支予算書	21

令和元年8月16日

経済観光文化局

第1章 公益財団法人福岡市文化芸術振興財団の概要

1 名称, 設立年月日, 所在地

- (1) 名 称 公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団
- (2) 設立年月日 平成11年3月1日
平成24年4月1日 (公益財団法人へ移行)
- (3) 所 在 地 福岡市博多区下川端町3番1号

2 設立目的

文化芸術の振興に関する事業を行い、もって心豊かな市民生活の実現と、薫り高い文化芸術の創造・発展に寄与すること。

3 事業内容

- (1) 市民文化の振興に関する事業
- (2) 文化芸術活動者の支援・育成に関する事業
- (3) 国内外との文化交流の促進に関する事業
- (4) 文化普及, 広報事業の推進に関する事業
- (5) 福岡市の依頼による文化芸術事業の受託に関する事業
- (6) 福岡市の依頼による文化施設の管理及び運営の受託に関する事業
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

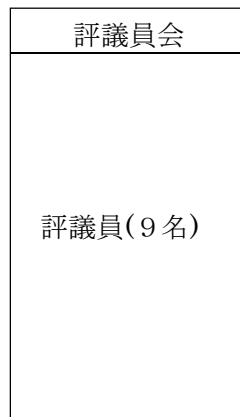
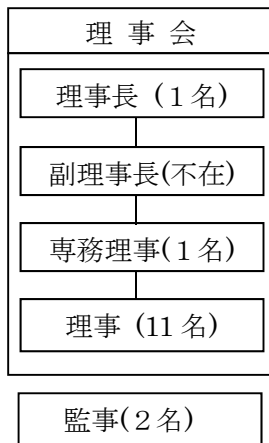
4 基本財産

200,000 千円

(福岡市出資金 200,000 千円, 福岡市の出資比率 100%)

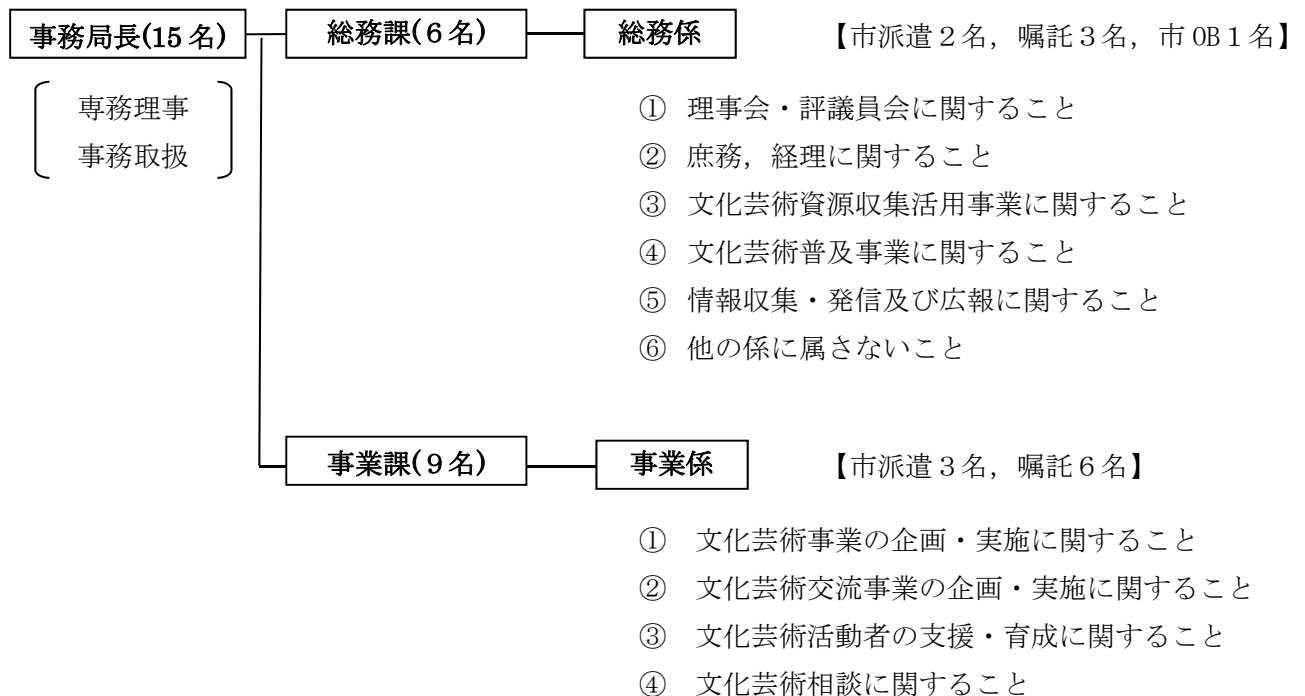
5 組織及び役職員数(令和元年度) ※7月1日現在

(1) 組織



※経済界, 学識経験者, 文化活動者等により構成

- ① 理事及び監事の選任及び解任
- ② 貸借対照表及び損益計算書
(正味財産増減計算書)の承認
- ③ 定款の変更 等



(2) 役職員数

役員(常勤)数	1名
事務局職員数	15名
計	16名

○ 事務局職員の内訳

福岡市からの派遣職員	5名
嘱託職員	9名
市OB	1名
計	15名

6 役員名簿

(令和元年7月1日現在)

役職名	氏名	就任年月日	備 考
理事長	石原 進	平成24年4月1日	九州旅客鉄道株式会社 相談役
専務理事	井上 るみ	平成30年4月1日	(常勤)
理事	天本 俊明	平成30年4月1日	福岡市経済観光文化局 理事
理事	井口 幸久	平成28年12月26日	福岡文化連盟 事務局長
理事	岩熊 正道	平成24年4月1日	RKB毎日放送株式会社 取締役
理事	後小路 雅弘	平成24年4月1日	九州大学大学院 人文科学研究院 教授
理事	遠藤 泰昭	平成30年7月12日	九州電力株式会社 上席執行役員
理事	尾本 章	平成24年4月1日	九州大学大学院 芸術工学研究院 教授
理事	北里 晋	平成27年10月23日	株式会社西日本新聞社 文化部長
理事	古賀 弥生	平成24年4月1日	アートサポートふくおか 代表
理事	小西 眞弓	平成31年4月1日	福岡市教育委員会 教育次長
理事	高宮 由美子	平成24年4月1日	NPO法人子ども文化コミュニティ 代表理事
理事	梁木 靖弘	平成24年4月1日	映画・演劇評論家
監事	重藤 健士	平成25年7月5日	公益財団法人西日本国際財団 専務理事
監事	高原 浩之	平成30年4月2日	一般財団法人ふくおかフィナンシャルグループ 文化芸術財団 常務理事

7 評議員名簿

(令和元年7月1日現在)

役職名	氏 名	就任年月日	備 考
評議員	有馬 学	平成24年4月1日	福岡市博物館 館長
評議員	宇田川 宣人	平成24年4月1日	九州産業大学大学院 客員教授
評議員	太田 良	平成28年12月26日	西部瓦斯株式会社 取締役 常務執行役員
評議員	大山 平一郎	平成24年4月1日	サンタバーバラ室内管弦楽団 音楽監督兼指揮者
評議員	鹿島 康宏	平成29年4月1日	株式会社九電工 取締役常務執行役員
評議員	川崎 隆生	平成28年12月26日	福岡文化連盟 理事長
評議員	相良 直文	平成24年4月1日	株式会社博多座 相談役
評議員	中山 喜一郎	平成31年3月19日	福岡市美術館 館長
評議員	吉田 由布子	平成28年5月31日	福岡教育大学 名誉教授

第2章 平成30年度決算状況

1 事業報告

平成30年度は、より多くの市民に文化芸術に親しんでもらうため、子どもを対象とした事業の拡充や他都市の文化芸術団体等との連携強化による質の高い文化芸術作品の鑑賞機会の創出など、事業の広がりを持たせ、下記のとおり事業を展開した。

(1) 文化芸術に親しむきっかけづくり

① 子ども文化芸術事業（参加者・来場者：延べ5,418人）

小学校に国内外で活躍するアーティストを派遣し、子どもたちが学校などで文化芸術を鑑賞・体験する機会を創出するとともに、文化芸術の魅力を伝えることを目的に音楽、ダンス、演劇、日本伝統文化、国際文化のワークショップ等を行った。また、子どもも大人も楽しめるダンス公演を開催した。

ア 子ども文化芸術魅力発見事業

(ア) 小学校へのアーティスト派遣「アーティストと出会う」（実施校数：50校，参加者：4,931人）

新たに、筑前琵琶、馬頭琴、西アフリカの伝統芸能を加えてプログラムを拡充し、実施校数も拡大して実施した。

(イ) 公募型ワークショップ「アーティストとつくる」（参加者・来場者：延べ187人）

イ 親子芸術体験事業

夏休み期間中に、子どもも大人も楽しめるダンス公演「不思議の国のアリス」を、他都市の文化芸術団体等と連携して参加しやすい入場料で実施し、親子で質の高い文化芸術に触れる機会を創出した。

② 伝統芸能事業（来場者：568人）

伝統芸能が幅広い市民の関心を集め身近なものとなるよう、歌舞伎への理解を深める入門講座と、福岡発祥の筑前琵琶と現代音楽・映像のコラボレーションによるオリジナル新作公演を行い、ともに新たな鑑賞者の獲得と伝統芸能の振興を図った。

③ エイブル・アート事業（参加者・来場者：延べ1,279人）

障がい者演劇という演劇の新たな分野を福岡市で確立するための基盤づくりと実践の場として、前年度の「身体に障がいのある人の俳優講座」の参加者と、演劇経験のある高齢者による舞台作品をNPO法人と共働で創作・上演した。また、九州大学ソーシャルアートラボと連携して、障がい者の芸術活動を支援する人材の育成に取り組んだ。

④ 地域での文化振興事業（来場者：1,277人）

質の高い舞台芸術を身近な会場で鑑賞できる機会を提供した。

ア FFAC おんがくさんぽ

市民センターを会場に、0歳から入場でき、親子で気軽に参加できるクラシックやオペラのコンサートを実施した。

イ ダンス公演

福岡をはじめ全国で活躍するダンサーによる親子で楽しめるダンスの新作公演を科学館サイエンスホールで実施した。

⑤ 文化交流促進事業（来場者・参加者：2,163人）

国内外の多種多様な舞台芸術に触れる機会を広く市民に提供し、文化芸術の持つ創造性や多様性、個性等を体感することを通じて、国内外の相互交流、相互理解を促進した。

ア 福岡ダンスフリンジフェスティバル vol.12

日本・韓国・中国などアジアを中心に過去最多の世界16か国・地域からの応募の中から選りすぐりの現代舞踊の公演をNPO法人と共働で開催し、多様な作品を鑑賞する機会を市民に提供した。また、国内外のゲストを招いたトークセッション及び地元活動者や市民を対象としたワークショップも開催し、国を超えた発表の場、交流の場を創出した。

イ 福岡きびる舞台芸術祭

福岡市の音楽・演劇練習場施設の指定管理者、NPO法人と連携して、国内8団体を招へいして演劇公演、交流会などを実施し、演劇の魅力を広く発信するとともに劇団相互や、劇団と観客との交流促進を図った。

（2）市民の文化芸術活動の支援

① 第55回福岡市民芸術祭（来場者・参加者：128,866人）

市民の文化芸術の発表の場、身近に文化芸術に触れ合う場として、音楽・舞台芸術・美術・伝統芸能など幅広い文化芸術団体が参加する総合的な文化芸術の祭典である市民芸術祭を10月から12月まで開催した。

ア 参加行事

市民芸術祭期間中に市民団体等による134の文化芸術行事が市内各所で繰り広げられ、一体的な広報で周知を図り、多くの市民が文化芸術に触れられる機会を提供し、福岡のまちを文化芸術で盛り上げた。ロゴデザインを制作し、のぼりやパンフレット、ポスター等で展開するなど、市民芸術祭を統一的なイメージで発信するとともに、WEBサイト・SNSでの広報強化に取り組んだ。

イ オープニングイベント

市民芸術祭をより多くの市民に知ってもらうとともに、文化芸術を通じた「にぎわい」の創出を図るため、「現代サーカス」と「日本伝統芸能」による福岡発の舞台作品を上演し、多様な市民が参加する市民芸術祭の幕開けを飾った。また、会場で市民芸術祭全体や参加行事のPRを行った。

ウ メイン事業

市民芸術祭を盛り上げるメイン事業にふさわしい質の高い演目として、現代演劇・能・ダンス・打楽器演奏など様々な要素を取り入れた現代能楽集「竹取」を、他都市の文化芸術団体や劇場との連携により、参加しやすい入場料で上演した。また、出演者による市民向けワークショップや小学校へのアーティスト派遣も実施し、公演に加えて幅広い市民に文化芸術に触れる機会を創出した。

② 第52回福岡市華道展（来場者・参加者：8,217人）

市内各流・会派合同による華道展を開催し、創作・発表活動を推進するとともに、体験教室も開催し、市民が気軽に華道に親しむ場を提供した。また、福岡市が推進する「一人一花運動」とも連携し、活動のパネル展示やPR活動も行った。

③ FFAC（福岡市文化芸術振興財団）ステップアップ助成プログラム（来場者・参加者：5,511人）

福岡市において文化芸術活動を行い、今後の活躍が期待される団体・個人で、応募の中から14団体・個人を選定し、経費の一部助成や専門アドバイザーによる助言、広報等の支援を行うとともに、実施後の報告会において、フォローアップ支援を行った。

（3）情報発信事業の推進

① 文化芸術資源収集活用事業

福岡市民の貴重な財産となる美術品、博物館資料を、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館と共働して収集し、展示を通して市民が多様な文化芸術資料を身近に鑑賞する機会を創出した。

② 文化芸術広報事業

ア 財団機関誌『w a』の発行

財団事業を中心に、福岡の文化芸術に関する情報発信を行う財団機関誌『w a』を年3回発行した。

イ ホームページ及び文化情報コーナー等による情報発信

財団ホームページ及び財団内の文化情報コーナー「アトリエ」を運営するとともに、メールマガジン及びSNSを活用し、文化芸術情報の発信を行った。また、「福岡市文化プログラム」WEBサイトにおいて、市と連携して、福岡文化プログラムで認証された事業を、国内外に向けて多言語で発信した。

③ 文化芸術普及事業

福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館の収蔵品をモチーフとしたオリジナルミュージアムグッズや三館収蔵品等に関する図録・叢書等の製作、販売を行い、三館の魅力や所蔵の文化芸術資料等のPR・広報を推進した。

④ 賛助会「わの会」事業（個人会員：306人、法人会員：2団体）

市民の芸術鑑賞機会の増大及び福岡市の文化芸術活動の振興を目的に、財団事業をはじめとした文化芸術活動のサポーター増加を推進するとともに、コンサートや講座を開催して、会員が文化芸術に触れる機会を提供した。

⑤ まるごとミュージアム事業

博多旧市街等で、文化財の中で現代アート作品を展示する屋外型イベント「まるごとミュージアム」を福岡市との共催により開催し、負担金の支出を行った。

(4) 理事会の開催状況

会議名	開催日	内容
平成30年度 第1回理事会	平成30年4月1日 ※決議の省略	平成30年度第1回評議員会招集の件について
平成30年度 第2回理事会	平成30年4月1日 ※決議の省略	専務理事の選定について
平成30年度 第3回理事会	平成30年4月2日 ※決議の省略	平成30年度第2回評議員会招集の件について
平成30年度 第4回理事会	平成30年5月14日	平成29年度事業報告及び決算について 平成30年度第3回評議員会招集の件について
平成30年度 第5回理事会	平成30年5月29日 ※決議の省略	理事長の選定について
平成30年度 第6回理事会	平成30年7月1日 ※決議の省略	平成30年度第4回評議員会招集の件について
平成30年度 第7回理事会	平成30年7月12日 ※決議の省略	平成30年度第5回評議員会招集の件について
平成30年度 第8回理事会	平成30年12月25日 ※決議の省略	事業計画の変更及び収支予算の補正，特定資産の積立・取崩の補正について
平成30年度 第9回理事会	平成31年3月18日 ※決議の省略	平成30年度第6回評議員会招集の件について
平成30年度 第10回理事会	平成31年3月18日	平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 平成31年度特定資産の積立・取崩(案)について 平成30年度第7回評議員会招集について

(5) 評議員会の開催状況

会議名	開催日	内容
平成30年度 第1回評議員会	平成30年4月1日 ※決議の省略	理事3名の選任について
平成30年度 第2回評議員会	平成30年4月2日 ※決議の省略	監事1名の選任について
平成30年度 第3回評議員会	平成30年5月29日	平成29年度事業報告及び決算について 理事9名の選任について
平成30年度 第4回評議員会	平成30年7月1日 ※決議の省略	評議員1名の選任について
平成30年度 第5回評議員会	平成30年7月12日 ※決議の省略	理事1名の選任について
平成30年度 第6回評議員会	平成31年3月19日 ※決議の省略	評議員1名の選任について
平成30年度 第7回評議員会	平成31年3月25日	平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 平成31年度特定資産の積立・取崩(案)について

※上記(4)，(5)の表中の「※決議の省略」とは、法に基づき、書面等により理事(又は評議員)全員が同意した場合に決議があったものとみなす手続きのこと。

2 貸借対照表(平成31年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	11,417,805	15,202,401	△ 3,784,596
未収金	3,880,622	1,757,051	2,123,571
印刷物等	19,315,899	8,237,218	11,078,681
流動資産合計	34,614,326	25,196,670	9,417,656
2 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	161,087	161,087	0
投資有価証券	199,838,913	199,838,913	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
文化芸術資源収集活用事業積立資産	366,652,620	366,652,620	0
文化普及事業積立資産	12,980,398	21,754,044	△ 8,773,646
文化芸術広報・支援積立資産	49,119,822	51,819,822	△ 2,700,000
文化芸術事業支援積立資産	1,886,690	1,652,725	233,965
特定資産合計	430,639,530	441,879,211	△ 11,239,681
(3) その他固定資産			
什器備品	204,179	229,180	△ 25,001
リース資産	2,438,554	0	2,438,554
ソフトウェア	1,067,580	1,757,700	△ 690,120
電話加入権	418,000	418,000	0
敷金	5,734,850	6,833,150	△ 1,098,300
その他固定資産合計	9,863,163	9,238,030	625,133
固定資産合計	640,502,693	651,117,241	△ 10,614,548
資産合計	675,117,019	676,313,911	△ 1,196,892
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	14,574,068	13,849,633	724,435
前受金	216,000	224,200	△ 8,200
預り金	651,528	838,100	△ 186,572
リース債務	600,770	68,880	531,890
未払法人税等	0	71,000	△ 71,000
未払消費税等	0	574,000	△ 574,000
流動負債合計	16,042,366	15,625,813	416,553
2 固定負債			
リース債務	1,907,972	0	1,907,972
固定負債合計	1,907,972	0	1,907,972
負債合計	17,950,338	15,625,813	2,324,525
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	566,652,620	566,652,620	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(366,652,620)	(366,652,620)	(0)
2 一般正味財産	90,514,061	94,035,478	△ 3,521,417
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(63,986,910)	(75,226,591)	11,239,681
正味財産合計	657,166,681	660,688,098	△ 3,521,417
負債及び正味財産合計	675,117,019	676,313,911	△ 1,196,892

3 正味財産増減計算書（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

(1) 正味財産増減計算書

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	2,437,200	2,437,200	0
② 特定資産運用益	8,013	12,514	△ 4,501
③ 受取賛助会費	564,200	642,100	△ 77,900
④ 事業収益	16,473,757	32,398,213	△ 15,924,456
⑤ 受取補助金等	116,638,210	136,094,246	△ 19,456,036
⑥ 受取助成金	12,373,285	5,072,000	7,301,285
⑦ 受取寄付金	0	0	0
⑧ 雑収益	396,061	69,032	327,029
経常収益計	148,890,726	176,725,305	△ 27,834,579
(2) 経常費用			
① 事業費	143,086,138	165,568,681	△ 22,482,543
② 管理費	8,227,705	8,106,909	120,796
経常費用計	151,313,843	173,675,590	△ 22,361,747
当期経常増減額	△ 2,423,117	3,049,715	△ 5,472,832
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 敷金返還金戻出額	1,098,300	0	1,098,300
② 固定資産除却損	0	1	△ 1
経常外費用計	1,098,300	1	1,098,299
当期経常外増減額	△ 1,098,300	△ 1	△ 1,098,299
税引前当期一般正味財産増減額	△ 3,521,417	3,049,714	△ 6,571,131
法人税等	0	71,000	△ 71,000
当期一般正味財産増減額	△ 3,521,417	2,978,714	△ 6,500,131
一般正味財産期首残高	94,035,478	91,056,764	2,978,714
一般正味財産期末残高	90,514,061	94,035,478	△ 3,521,417
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	566,652,620	566,652,620	0
指定正味財産期末残高	566,652,620	566,652,620	0
III 正味財産期末残高	657,166,681	660,688,098	△ 3,521,417

(2) 正味財産増減計算書内訳表

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①基本財産運用益	2,437,200	0	0	0	2,437,200
②特定資産運用益	8,013	0	0	0	8,013
③受取賛助会費	564,200	0	0	0	564,200
④事業収益	16,473,757	0	0	0	16,473,757
⑤受取補助金等	108,410,505	0	8,227,705	0	116,638,210
⑥受取助成金	12,373,285	0	0	0	12,373,285
⑦受取寄付金	0	0	0	0	0
⑧雑収益	396,061	0	0	0	396,061
経常収益計	140,663,021	0	8,227,705	0	148,890,726
(2) 経常費用					
①事業費	143,086,138	0	0	0	143,086,138
②管理費	0	0	8,227,705	0	8,227,705
経常費用計	143,086,138	0	8,227,705	0	151,313,843
当期経常増減額	△ 2,423,117	0	0	0	△ 2,423,117
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
①敷金返還金戻出額	899,508	0	198,792	0	1,098,300
②固定資産除却損	0	0	0	0	0
経常外費用計	899,508	0	198,792	0	1,098,300
当期経常外増減額	△ 899,508	0	△ 198,792	0	△ 1,098,300
他会計振替前一般正味財産増減額	△ 3,322,625	0	△ 198,792	0	△ 3,521,417
他会計振替額	1,273,805	△ 1,273,805	0	0	0
税引前当期一般正味財産増税額	△ 2,048,820	△ 1,273,805	△ 198,792	0	△ 3,521,417
法人税等	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,048,820	△ 1,273,805	△ 198,792	0	△ 3,521,417
一般正味財産期首残高	91,426,308	1,273,805	1,335,365	0	94,035,478
一般正味財産期末残高	89,377,488	0	1,136,573	0	90,514,061
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	566,652,620	0	0	0	566,652,620
指定正味財産期末残高	566,652,620	0	0	0	566,652,620
III 正味財産期末残高	656,030,108	0	1,136,573	0	657,166,681

4 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

ア 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券…個別法による取得原価基準を採用している。なお、債券の取得価額と債券金額との差額については、重要性が乏しいため、償却原価法は適用していない。

イ 棚卸資産の評価基準及び評価方法

印刷物等……………先入先出法に基づく原価法を採用している。

ウ 固定資産の減価償却の方法

什器備品及びソフトウェア…定額法による減価償却を実施している。

リース資産…リース期間を耐用年数とするリース期間定額法による減価償却を実施している。

エ 引当金の計上基準

該当なし

オ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

カ リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引は、契約1件当たりのリース料総額が300万円以上の取引につき、売買取引に係る方法に準じた会計処理を採用している。

(2) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	161,087	0	0	161,087
投資有価証券	199,838,913	0	0	199,838,913
小計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
文化芸術資源収集活用事業積立資産	366,652,620	9,047,600	9,047,600	366,652,620
文化普及事業積立資産	21,754,044	453,132	9,226,778	12,980,398
文化芸術広報・支援積立資産	51,819,822	10,897,643	13,597,643	49,119,822
文化芸術事業支援積立資産	1,652,725	454,943	220,978	1,886,690
小計	441,879,211	20,853,318	32,092,999	430,639,530
合計	641,879,211	20,853,318	32,092,999	630,639,530

(3) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	161,087	(161,087)	(0)	—
投資有価証券	199,838,913	(199,838,913)	(0)	—
小計	200,000,000	(200,000,000)	(0)	—
特定資産				
文化芸術資源収集活用事業積立資産	366,652,620	(366,652,620)	(0)	(0)
文化普及事業積立資産	12,980,398	(0)	(12,980,398)	(0)
文化芸術広報・支援積立資産	49,119,822	(0)	(49,119,822)	(0)
文化芸術事業支援積立資産	1,886,690	(0)	(1,886,690)	(0)
小計	430,639,530	(366,652,620)	(63,986,910)	(0)
合計	630,639,530	(566,652,620)	(63,986,910)	(0)

(4) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	904,057	699,878	204,179
リース資産	3,048,192	609,638	2,438,554
ソフトウェア	3,450,600	2,383,020	1,067,580
合計	7,402,849	3,692,536	3,710,313

(5) 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
大阪市平成23年度 第8回公募公債	118,839,813	123,170,400	4,330,587
福岡市平成24年度 第6回公募公債	10,000,000	11,955,000	1,955,000
福岡市平成25年度 第8回公募公債	999,100	1,032,200	33,100
福岡市平成26年度 第2回公募公債	70,000,000	82,502,000	12,502,000
合計	199,838,913	218,659,600	18,820,687

(6) 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
補助金 事業補助金	福岡市	0	116,638,210	116,638,210	0
助成金					
平成30年度共催事業助成金	(公財)九州文化協会	0	285,000	285,000	0
平成30年度文化芸術振興費補助金による助成金	(独法)日本芸術文化振興会	0	6,178,000	6,178,000	0
平成30年度地域伝統芸能等保存事業助成金	(一財)地域創造	0	500,000	500,000	0
平成30年度地域の文化・芸術活動助成事業助成金	(一財)地域創造	0	3,500,000	3,500,000	0
文化庁劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業現代能楽集「竹取」助成金	(公財)熊本県立劇場	0	1,910,285	1,910,285	0
合計		0	129,011,495	129,011,495	0

5 附属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記の「(2)基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」及び「(3)基本財産及び特定資産の財源等の内訳」に記載している。

(2) 引当金の明細

該当なし。

6 財産目録（平成31年3月31日現在）

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）				
	現金 預金	手元保管	運転資金として	43,897
		普通預金	運転資金として	
		西日本シティ銀行（支払）		9,611,858
		西日本シティ銀行（賛助）		1,588,051
		福岡信用金庫（美術品）		173,999
	未収金	公財）熊本県立劇場	公益目的事業の受取助成金	1,910,285
		（株）福岡金文堂	公益目的事業の売上代金	1,037,441
		（株）オークコーポレーション	公益目的事業の売上代金	267,260
		その他	公益目的事業の売上代金等	665,636
	印刷物等	福岡市美術館グッズ	公益目的事業に供するもの	9,468,663
福岡アジア美術館グッズ		公益目的事業に供するもの	2,601,824	
福岡市博物館グッズ		公益目的事業に供するもの	6,922,672	
その他グッズ		公益目的事業に供するもの	322,740	
流動資産合計				34,614,326
（固定資産）				
基本財産	普通預金	福岡信用金庫	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用することとしている。	161,087
	投資有価証券	大阪市公募公債 福岡市公募公債 福岡市公募公債 福岡市公募公債 福岡市公募公債		118,839,813 10,000,000 999,100 70,000,000
特定資産	文化芸術資源収集活用事業積立資産	福岡信用金庫・普通預金（美術品）	公益目的事業の積立資産であり、福岡市からの美術品等取得資金として管理されている。	39,402,620
		定期預金		310,000,000
		美術品等	公益目的事業の保有資産である。	17,250,000
	文化普及事業積立資産	西日本シティ銀行・普通預金（支払） 普通預金（天神）	公益目的事業の積立資産であり、福岡市美術館叢書等の製作及び維持管理を行うため管理されている。	242,709 12,737,689
		文化芸術広報・支援積立資産	福岡銀行・普通預金	公益目的事業の積立資産であり、広報活動及び美術館等の活動支援を行うため管理されている。
	文化芸術事業支援積立資産	西日本シティ銀行・普通預金（寄附） 普通預金（賛助） ゆうちょ銀行・振替貯金	公益目的事業の積立資産であり、文化芸術活動者支援等のため管理されている。	1,485,115 233,965 167,610
その他固定資産	什器備品	ネットワーク再構築等	公益目的保有財産3件	204,179
	リース資産	カラープリンター	公益目的保有財産1件	2,438,554
	ソフトウェア	ホームページ等	公益目的保有財産3件	1,067,580
	電話加入権	電話加入権 5回線	共用財産1件	418,000
	敷金	（一財）福岡県消防協会	共用財産1件	5,734,850
固定資産合計				640,502,693
資産合計				675,117,019

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	(株)四ヶ所	図録「福岡市美術館サ・ベスト」製作	6,609,600
		福岡市	補助金返還金	4,801,790
		日本年金機構	社会保険料	891,705
		派遣職員・嘱託職員・臨時職員	3月分給与賃金	769,524
		(株)エイム	グッズ(大判ハカチ)製作	502,848
		(株)オーニシ	共用財産であるPC賃貸料等	320,366
		その他	公益目的事業、管理業務に関するもの	678,235
	前受金	平成31年度賛助会会費	公益目的事業に関するもの	216,000
預り金	源泉所得税他		651,528	
リース債務1	日通商事(株)	公益目的事業に供するカーブリンター	600,770	
流動負債合計				16,042,366
(固定負債)	リース債務	日通商事(株)	公益目的事業に供するカーブリンター	1,907,972
固定負債合計				1,907,972
負債合計				17,950,338
正味財産合計				657,166,681

7 収支計算書（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当初予算額	最終予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	2,437,000	2,437,000	2,437,200	△ 200
② 特定資産運用益	8,000	8,000	8,013	△ 13
③ 受取賛助会費	590,000	590,000	564,200	25,800
④ 事業収益	17,052,000	17,052,000	16,473,757	578,243
⑤ 受取補助金等	121,440,000	121,440,000	116,638,210	4,801,790
⑥ 受取助成金	7,285,000	7,285,000	12,373,285	△ 5,088,285
⑦ 受取寄附金	100,000	100,000	0	100,000
⑧ 雑収益	10,000	10,000	396,061	△ 386,061
経常収益計	148,922,000	148,922,000	148,890,726	31,274
(2) 経常費用				
① 事業費	147,143,000	147,143,000	143,086,138	4,056,862
② 管理費	8,635,000	8,635,000	8,227,705	407,295
経常費用計	155,778,000	155,778,000	151,313,843	4,464,157
当期経常増減額	△ 6,856,000	△ 6,856,000	△ 2,423,117	△ 4,432,883
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
① 敷金返還金戻出額	0	0	1,098,300	△ 1,098,300
② 固定資産除却損	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	1,098,300	△ 1,098,300
当期経常外増減額	0	0	△ 1,098,300	1,098,300
税引前当期一般正味財産増減額	△ 6,856,000	△ 6,856,000	△ 3,521,417	△ 3,334,583
法人税等	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 6,856,000	△ 6,856,000	△ 3,521,417	△ 3,334,583
一般正味財産期首残高	91,057,000	91,057,000	94,035,478	△ 2,978,478
一般正味財産期末残高	84,201,000	84,201,000	90,514,061	△ 6,313,061
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	566,653,000	566,653,000	566,652,620	380
指定正味財産期末残高	566,653,000	566,653,000	566,652,620	380
III 正味財産期末残高	650,854,000	650,854,000	657,166,681	△ 6,312,681

8 収支計算書に対する注記

公益法人会計基準(平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会)に準じて作成している。

9 契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約

該当なし

10 契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約

該当なし

第3章 令和元年度事業計画

1 事業計画

令和元年度は、より多くの市民に文化芸術に親しんでもらうため、子どもを対象とした事業の拡充、福岡市文化芸術振興計画に沿った市の施策と連携した事業の推進、市民および地元活動者の文化芸術活動への支援内容の充実など、事業の広がりを持たせ、下記のとおり事業を展開する。

(1) 文化芸術に親しむきっかけづくり

① 子ども文化芸術事業

子どもたちが小学校等で文化芸術を鑑賞・体験できる機会を創出し、文化芸術の魅力を伝える。

ア 子ども文化芸術魅力発見事業

(ア) 小学校へのアーティスト派遣「アーティストとであう」

小学校に国内外で活躍しているアーティストを派遣し、音楽、ダンス、演劇、日本伝統文化、国際文化のワークショップを実施する。新たに人形浄瑠璃と九州交響楽団によるプログラムを加え、プログラムを拡充する。

(イ) 公募型ワークショップ「アーティストとつくる」

公募により小学生の参加者を募り、地元アーティストが企画・進行を行う演劇ワークショップを夏休み期間中に実施する。

イ 親子芸術体験事業

音楽公演では、0歳から入場できるクラシックコンサートを開催し、演劇公演では、次世代の演劇界を担う人材として注目を集める演劇作家による、子どもから大人まで一緒に楽しめる質の高い作品を、他都市の文化芸術団体等と連携して上演する。

② 伝統芸能事業

福岡発祥の筑前琵琶の弾き語りによる人形浄瑠璃の新作公演を実施し、市民が日本・福岡に根づく伝統芸能の魅力を知る機会を創出する。

③ 社会参加促進事業（旧エイブル・アート事業）

障がいのある人の芸術活動を通して、障がいや個性について考え、社会の様々な価値観をとらえ直すことを目的に、NPO 法人と共働し、俳優育成講座やその芸術活動を支える人材の育成及び特別支援学校へのアーティスト派遣等を実施する。

④ 博多旧市街にぎわい創出事業

福岡市を代表する歴史的エリアを対象に、福岡市が取り組んでいる「博多旧市街プロジェクト」やラグビーワールドカップ2019を踏まえ、市民及び国内外からの来訪者が気軽に福岡の歴史や文化芸術に触れられる事業を新たに実施し、まちの魅力向上と観光振興を図る。

ア 博多旧市街プロジェクト・インバウンド事業

「博多旧市街プロジェクト」エリアにおいて、伝統と現代、和と洋、音楽と舞踊など、多様な表現を組み合わせた言葉を使わない“ノンバーバル”な演目を中心に、誰もが楽しめる公演を実施する。

イ アートカフェ事業

福岡アジア美術館の「アートカフェ」において、ミニコンサート等、多様な市民が気軽に文化芸術に親しめる事業を実施し、文化芸術活動の情報発信を行う。

⑤ 文化交流促進事業

国内外の多様な舞台芸術に触れる機会を広く市民に提供するとともに、文化芸術を通じたアーティスト同士及びアーティストと市民の交流や、関係者のネットワーク構築を促進することを目的に、福岡市の音楽・演劇練習場の指定管理者や NPO 法人と連携して、福岡ダンスフリンジフェスティバルと福岡きびる舞台芸術祭を開催する。

(2) 市民の文化芸術活動の支援

① 福岡市民芸術祭

市民の文化芸術の発表の場、身近に文化芸術に触れ合う場として、音楽・舞台芸術・美術・伝統芸能など幅広い文化芸術団体が参加する総合的な文化芸術の祭典である市民芸術祭を 10 月から 12 月にかけて開催する。

ア 参加行事

市民芸術祭期間中に、市内で開催される市民団体等による文化芸術活動を、市民芸術祭参加行事として認定し、同芸術祭ロゴデザインを活用した一体的な広報を行い、多くの市民が文化芸術に触れる機会を提供する。

イ オープニングイベント

市民芸術祭をより多くの市民に知ってもらうとともに、文化芸術を通じた「にぎわい」の創出を図るため、昨年度好評を博した日本伝統芸能と現代サーカスを融合した「線香花火」をバージョンアップして上演するとともに、会場にて市民芸術祭全体の PR を行う。

ウ メイン事業

市民芸術祭を盛り上げるメイン事業として、令和元年度に日本との外交関係樹立 100 周年を迎えるフィンランドから現代サーカスのアーティストを招いて、日本のアーティストとともに共同創作を行い、舞台公演を行うとともに、現代サーカスをより深く楽しめる関連企画を実施する。

② 福岡市華道展

市内の華道各流・会派合同による華道展を開催し、市民の創作・発表活動を推進する。

③ FFAC ステップアップ助成プログラム

福岡市において文化芸術活動を行い、今後の発展が期待される団体・個人が、更なるステップアップを図る活動、それを支援する活動又は市民に文化芸術に触れる機会を提供する活動を対象に、経費の一部助成や専門アドバイザーによる助言、報告会におけるフォローアップ等を行い、その活動を支援する。

(3) 情報発信事業の推進

① 文化芸術資源収集活用事業

福岡市民の貴重な財産となる美術品及び博物館資料を、福岡市美術館、福岡アジア美術館及び福岡市博物館と共働して収集し、展示を通して市民が多様な文化芸術資料を身近に鑑賞する機会を創出する。

② 文化芸術広報事業

ア 財団機関誌『w a』の発行

財団事業を分かりやすく伝える機関誌を年3回発行し、財団事業の周知を図るとともに、人・事・場所などの紹介を通して福岡の文化芸術ファンの拡大を目指す。

イ 情報発信機能の充実

財団ホームページ及び文化情報コーナー「アトリエ」を運営するとともに、「福岡市文化プログラム」WEB サイト、メールマガジン及び SNS を活用し、発信力を強化していく。

③ 文化芸術普及事業

福岡市美術館、福岡アジア美術館及び福岡市博物館の収蔵品をモチーフとしたオリジナルミュージアムグッズや三館収蔵品等に関する図録・叢書等の製作、販売を行い、三館それぞれの魅力や所蔵の文化芸術資料等の PR・広報活動を推進するとともに、三館が実施するイベントや講座などへの支援や特別展に合わせた共催事業を実施する。

④ 賛助会「わの会」

「市民の芸術鑑賞機会の増大」及び「福岡市の文化芸術活動の振興」を目的に、財団事業をはじめとした文化芸術活動のサポーター増加を推進するとともに、コンサートや講座を開催して、会員が文化芸術に触れる機会を提供する。

⑤ まるごとミュージアム事業

博多旧市街等で、文化財の中で現代アート作品を展示する屋外型イベント「まるごとミュージアム」を福岡市との共催により開催し、負担金の支出を行う。

⑥ 事務所の移転

事務所を、福岡アジア美術館が入居するリバレインセンタービルに移転し、同美術館と連携した取り組みのさらなる推進や、「博多旧市街プロジェクト」の拠点の一つでもあるアートカフェ（同ビル7階）を活用した事業展開や情報発信など今まで以上に多様な取り組みを進める。

2 収支予算書(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(1) 収支予算書

(単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	2,437	2,437	0
②特定資産運用益	186	8	178
③受取賛助会費	850	590	260
④事業収益	17,793	17,052	741
⑤受取補助金等	120,780	121,440	△ 660
⑥受取助成金	4,385	7,285	△ 2,900
⑦受取寄付金	100	100	0
⑧雑収益	10	10	0
経常収益計	146,541	148,922	△ 2,381
(2) 経常費用			
①事業費	135,198	147,143	△ 11,945
②管理費	12,221	8,635	3,586
経常費用計	147,419	155,778	△ 8,359
当期経常増減額	△ 878	△ 6,856	5,978
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 878	△ 6,856	5,978
一般正味財産期首残高	87,179	94,035	△ 6,856
一般正味財産期末残高	86,301	87,179	△ 878
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	566,653	566,653	0
指定正味財産期末残高	566,653	566,653	0
III 正味財産期末残高	652,954	653,832	△ 878

(2) 収支予算書内訳表

(単位：千円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取 引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	2,437	0	0	2,437
②特定資産運用益	186	0	0	186
③受取賛助会費	850	0	0	850
④事業収益	17,793	0	0	17,793
⑤受取補助金等	108,559	12,221	0	120,780
⑥受取助成金	4,385	0	0	4,385
⑦受取寄付金	100	0	0	100
⑧雑収益	10	0	0	10
経常収益計	134,320	12,221	0	146,541
(2) 経常費用				
①事業費	135,198	0	0	135,198
②管理費	0	12,221	0	12,221
経常費用計	135,198	12,221	0	147,419
当期経常増減額	△ 878	0	0	△ 878
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 878	0	0	△ 878
一般正味財産期首残高	85,844	1,335	0	87,179
一般正味財産期末残高	84,966	1,335	0	86,301
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	566,653	0	0	566,653
指定正味財産期末残高	566,653	0	0	566,653
III 正味財産期末残高	651,619	1,335	0	652,954

